

まるもり 議会だより

Miyagi Prefecture
Marumori Town Assembly
News

第264号



2023. AUG
令和5年8月1日

発行 宮城県丸森町議会
編集 議会広報常任委員会



コロナ乗り越え、みんなでソーレ！第85回丸森町健康まつり

(表紙のことは……16ページ)

6月議会

議会懇談会 ～町営学習塾に期待の声～ …… 2ページ

物価高騰対策 手厚く …… 4ページ

一般質問 8名の議員が町政を問う …… 5ページ

議会の要望に町長が回答しました …… 14ページ



まあるい森の里からこんにちは

議会懇談会

町営学習塾に

期待の声

議会懇談会を開催

議会懇談会は、議会の報告及び町民と議員が意見交換を行う大切な場として、年2回行っており、今回で25回目の開催となりました。5月24日・26日・29日の3日間、議員が3班に分かれて、各地区まちづくりセンターと大内青葉コミュニティセンターの9会場で行いました。

懇談会では、昨年5月の懇談会で出された意見等への対応状況、令和5年度予算の概要、予算に係る要望事項の内容を報告し、出席者からは貴重な意見等が出されました。

意見・要望への対応

懇談会での意見・要望は、議会懇談会実行委員会でのその内容を整理します。その後、議会自ら取り組むべき項目は、議会内で対応を検討します。

町に対する事項は、一般質問や総括質疑で考えをたずねるほか、常任委員会の所管事務調査で進捗状況を確認するなどして、来年の懇談会で対応状況を報告します。

議会懇談会出席者状況

開催日	地区 (人数)
5月24日 (水)	耕野 (14人)
	青葉 (9人)
	丸森 (21人)
5月26日 (金)	筆甫 (8人)
	小斎 (13人)
5月29日 (月)	大張 (38人)
	大内 (11人)
	館矢間 (27人)
	金山 (8人)
出席者総数	3日間 合計149人

主な意見・要望

● 議会に対する意見・要望

【議会の様子の発信】

本会議のライブ中継だけでなく、録画配信を早めに視聴することはできないか。

【議会議員の定数と報酬】

議員定数は人口減に伴い削減すべきだ。報酬が低いため若者の成り手不足になっている。上げる必要がある。

● 町政一般に対する意見・要望

【空き家対策】

空き家の調査後、まとめたデータベースを基に、場合によっては解体などの予算措置をとるなど、対策を早急に講じてほしい。

【小学校空き校舎】

空き校舎を滞在型の保育施設に活用している自治体がある。先進事例を視察して、活用につなげてほしい。

【農地災害復旧事業】

農地の災害復旧で直してもらった田んぼは、中が石だらけで畑にもならない。何とかしてほしい。

【町民の情報受信】

ネットやスマホなどのデジタル技術が発達しているが、それが活用できない高齢者にも情報が分かるようにしてほしい。

【町営学習塾の運営】

町内どこに住んでいても、同じような教育を受けられる機会は保障すべきだ。また、空き校舎の活用によって出張学習塾などできないか。

【行政区の見直し】

行政区は住民の多い地区と少ない地区があり、見直しが必要と思う。副区長や班長など、報酬や身分の保障等を町に要望してほしい。



大内青葉コミュニティセンター



丸森まちづくりセンター



筆甫まちづくりセンター

一般質問 町政を問う

一般質問とは、町に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをたずねるものです。今回は8人の議員が質問しました。

ページ	議員	質問事項と回答
6	鈴木 美智子	●高齢者の元気策は 教育長 各種事業を再開する
7	一條 己	●アフターコロナの対応は 町長 積極的に各施策に取り組む
8	宮本 昭雄	●定住を促す施策充実を 町長 提案の実現に努める
9	一條 功	●Jクレジットに取り組め 町長 現時点では見送る
10	山本 明德	●畜産農家の未来を守れ 町長 町独自の支援をする
11	大槻 正儀	●どうする運動公園の再整備 町長 丸森らしさ全面に検討
12	金森 裕之	●子どもの心のケア対策を 教育長 寄り添った支援を進める
13	船山 俊一	●さらなる観光振興に向けて 町長 観光DXを推進する



物価高騰対策 手厚く

6月議会のおらまし

6月議会定例会は、6月7日から9日まで3日間の日程で開催しました。審議の結果、町長提案の議案等を、すべて原案どおり可決しました。
一般質問は8人の議員が行い、自らの考えを交え町長や教育長の考えをたずねるなど、活発な議論を行いました。

※「繰越明許費とは」
何らかの事情でその年度内に支出を終了できない経費を、翌年度1年間に限り繰越して使用することができる予算のこと。

主な議決内容

- ◆報告 4件
（一般会計繰越明許費 ※ほか）
- ◆農業委員選任の同意 11件
- ◆条例制定 3件
（町税条例の一部改正、町民バスの設置及び管理に関する条例の廃止ほか）
- ◆財産の取得 2件
（小型消防ポンプ付軽積載車2台、スクールバス用ワゴン車2台）
- ◆一般会計 ほか2会計の補正予算

議決結果の一覧はホームページに掲載しています。



主な補正予算

5割増商品券発行に
2900万円

物価高騰等の影響で落ち込んだ個人消費の拡大や、町内事業者の売上向上のため、5割増商品券発行の予算を承認しました。

7月に1セット7500円分の商品券を、5000円で1万セット販売されました。

通学路安全対策に 4500万円

道幅が狭い等、危険な状態の通学路の安全対策に、4500万円の予算を承認しました。

町道菱川内線（丸森小学校東側）と、赤崎線（館矢間小学校東側）の道路幅を広げ、歩道を整備します。

放射能汚染除染廃棄物仮置場等に関する調査特別委員会 活動報告

令和4年3月に委員会を設置し、仮置場の早期移設に向けた対応を9回調査・検討してきました。今回は今年6月以降の活動についてお知らせします。

環境大臣へ要望

6月1日に、仮置場撤去に関する要望書の提出について検討を行い、同月16日に町長とともに環境省を訪問しました。

西村明宏環境大臣に要望書を手渡し、仮置場の問題が東日本台風からの復旧・復興の妨げになっていること、町民の安心には仮置場問題の解決が不可欠なことを伝えました。

7月13日に委員会を開催し、要望活動の報告を行いました。



町長とともに西村環境大臣に要望書を手渡し、仮置場の問題を訴えました





いちじょう 一 條 議員



QRコード
一般質問動画

アフターコロナの対応は

町長 積極的に各施策に取り組む

新型コロナウイルス感染症は、全国の医師・看護師の献身的な対応により、5類感染症に移行した。齋理屋敷では、縁側に座ってジェラートを食べている方や、外国人の姿を見ることができるようになった。アフターコロナ対応について問う。

問①丸森病院の診察・入院・面会等、5類移行後どのような対応をしているか。またワクチン接種収入の変更に、経営に影響はないか。

答①診察・入院は同じだが、面会は個室に加え、デイ

ルームもできるようにした。今後はさらに面会の人数や回数を緩和していく。接種収入は3632万円ほどであったが、感染者病床確保補助金などで同程度の収入になる。

問②3月に策定した丸森町観光振興計画での、宿泊を増加させる取り組みとして、「町ぐるみ体験の宿」や、「古民家宿泊施設」など、雑誌や町のホームページで紹介できるような連携や登録の取り組みはどうか。

答②宿泊業関係者と連携して宿泊施設の紹介方法を検討するとともに、町全体の受け入れ体制を強化する。

問③これまで本町が取り組んだインバウンド事業での、外国との繋がりを活かした本格的なインバウンドの再開ができるのではないか。また町の強みは何か。

答③大連市・ソウル市にある県の現地事務所を通じて、引き続き積極的に、誘客に



阿武隈急行線丸森駅から歩いて5分 4人まで利用可能な民泊施設 (館矢間地区)

高齢者の元気策は

教育長 各種事業を再開する

本町の令和5年3月31日現在の高齢化率は44・0%で県内2番目に高い。高齢者が、やりがいと生きがいをもって元気に暮らすための取り組みのひとつである、生涯学習について教育長に問う。

問①コロナ禍で事業の中止や規模縮小をせざるを得なかったが、感染症法上の位置づけが5類に移行され、事業規模が正常に戻ると期待する。どう取り組むのか。
答①手指消毒等の感染対策をしっかりと講じて、まずは中止や延期となっていた各事業を再開し、元気には



すずき みちこ 議員



QRコード
一般質問動画

つらつと生活できるよう支援する。

問②平成15年に整備された阿武隈川運動公園は、日頃はグラウンド・ゴルフの利

用者が草刈りなどで維持管理に努めている。しかし、阿武隈川の増水により幾度となく浸水し、その都度町が復旧したが、半分程は土砂が堆積して利用できず、

管理が難しいと見る。

阿武隈川の増水状況に影響を受けない場所への移転が必要ではないか。

答②グラウンド・ゴルフやジョギング等での利用には支障がなく、引き続き利用箇所の適正な管理に努める。グラウンド・ゴルフは旧小学校グラウンド等を利用して各地で楽しまれており、新たな場所の整備は考えていない。

問③国内のグラウンド・ゴルフ愛好者は、300万人以上といわれている。

町内各地に特色のあるグラウンド・ゴルフ場を整備し、利用者の増加と高齢者の元気づくりにつなげるとともに、町外からの交流人口の増加や観光で、経済効果も生みだせると考えるがどうか。

答③既存の施設の維持管理を適切に行い、元気づくりを含めた活動を支援する。観光につなげることにについては考えていきたい。



活動が再開された、ふれあいサロンリーダー研修会

取り組んでいく。

問④職員の自主視察研修の成果と、町の課題解決を図るために、町長は研修での課題解決策を採用する気持ちをもち、皆が同じ目標に

向かう高い志の町づくりを実現してはどうか。
答④研修は職員の政策形成能力の向上等が目的だが、本町の課題解決を行う上でも参考となる有効な事業なので、今後も継続する。

定住を促す施策充実を



みやもと しょうお 議員
宮本 昭雄



QRコード
一般質問動画

町長 提案の実現に努める

出生数の減少もあり、町の人口減少は顕著である。ここ数年の人口自然減は毎年200人を超えている。多方面に目を向けて、定住につながる政策を積み上げることが必要だ。

問① 将来の町づくりを担おうとする、若者定住に努めるべきと考え提案する。

答① 奨学資金を利用して学業を終え、町内定住しようとする若者の、奨学資金返済を、町で肩代わりする制度を創設すべきではないか。

答② 奨学金の返還を後押しする、自治体への国の支援制度がある。

それを活用した県内での先行事例もあり、参考にしながら町でも返還助成を検討する。

問② 所有者不明土地、いわゆる未登記の増加を防止す

るため、国の法律で令和6年4月1日から、登記の義務化が始まる。

このことを町民に周知し、理解を深めることが必要ではないか。

また、町民が土地の権利

を確認するのは、町民税務課の土地名寄帳がよりどころとなる。

しかし、本町の仕組みでは、共同山などの共有土地は、権利があるものの、名寄帳へ反映されない現状がある。

よって相続人が登記対象を見逃がしてしまい、未登記になる懸念がある。

共有地の権利が、名寄帳に載るよう整備することが必要だ。登記により、土地への愛着、そして定住にもつながると思うがどうか。

答② 登記義務化は、死亡届時に、健康保険の届け出などと同様に、国のチラシ配布と併せ知らせていく。町内には2485筆の共有地がある。

登記漏れを防ぐためにも、共有者個々の情報を名寄帳に示せるよう、法務局とも連携して、早期の実現を図りたい。



義務化となる土地や家の確実な登記を

Jクレジットに取り組み

町長 現時点では見送る

問① 全国では、地球温暖化防止を目的にカーボンオフセット（Jクレジット）への取り組みが増加している。12月議会定例会で質問した際には、「しっかりと調査・研究し、制度の効果も分析しながら、導入が可能かどうか検討する」との回答があった。

答① 森林分野では、立木販売とは別の収益で森林整備費用に充てられるが、費用

負担や専門的な知識、長期の準備期間が必要のため、検討の結果、国内での認知や理解が醸成されるまで、実施を見送る。

問② 新たな取り組みとして、水田（水稲）を活用する方法が加わった。

水稲栽培期間中、出穂前水田を水抜きし、中干し期間を延長することで、温室効果ガス削減が認められる

ことになり、Jクレジット取引ができるようになった。基幹産業を営み、守りながら、二酸化炭素、メタンガスを削減して、地球温暖化防止に繋がる制度である。

国は、二酸化炭素の次に発生量が多く、温室効果が28倍とも言われるメタンガスを減らし、2050年までにカーボンオフセットの実現を目指している。

地球温暖化防止に貢献し

ながら、基幹産業を守る活動にいつから取り組むのか。また、取り組まない理由があるのかを問う。

答② 農業分野は、水稲中干し期間延長が環境保全型農業直接支払交付金の対象メニューに追加されたが、14日以上の中干しは米の収量に影響を及ぼす懸念もある。

本町では、農家が制度の可否を判断できるような情報収集と提供に努める。



いちじょう いさお 議員
一條 功



QRコード
一般質問動画

丸森町林業振興ビジョン 概要版

丸森町林業振興ビジョン発行にあたって

丸森町長 保科 郷雄

令和元年東日本台風災害から、間もなく3年半が経過しようとしております。震災以降、田や畑、全国の自治体をはじめ、多くの皆様から御支援と御協力を賜っていることに対して、感謝を申し上げます。

この台風災害は、町民の命や命を奪うとともに、本町に多大な被害をもたらした町政史上最大の出来事でありました。同時に、自然の脅威と適切な森林管理の重要性を改めて思い知らされる契機ともなりました。

本町の林業は、長期的な木材価格の低迷や社会構造の変化、さらには平成23年3月に発生した東日本大震災にもなる原発事故により、森の衰退の一途を辿るとともに、所有者の森林への関心の低下をもたらした、森林荒廃が進む状況となっております。

この未曾有の台風災害を契機とし、今一度森林管理のあり方を考えるとともに、今後の町の復旧・復興を見据え、町域の7割を占める豊富な森林資源を有効に活用し、町の活性化を図らなければならないと強く感じました。このたび策定したビジョンは、「丸森を宝の山に」として次世代へを基本理念として、森林の持つ機能や価値を高めつつ、広大な森林を私たちの宝として、50年後100年後につないでいくことを期しております。そして、この実現のために、林業の成長産業化や、健全で持続可能な森林づくり、移住定住の促進と林業・木材産業を支える人材育成を推進し、町民の皆様が、森林がもたらす恵みや誇りを最大限に享受し、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めてまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重な御意見、御提案をいただきました検討委員の皆様や関係者の皆様の御協力に對しまして、心より感謝を申し上げますとともに、この計画の実現に向けて、今後とも御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

策定の目的

本町の豊富な森林資源を有効に活用し、産業としての林業の再興を図るとともに、適切な森林管理によって、町民が将来にわたり、豊かな自然とともに安心して暮らせるまちづくりを進めるため、林業振興の目指すべき方向性をまとめた「丸森町林業振興ビジョン」を策定しました。

計画期間・計画の位置づけ

令和5年度～令和14年度（10年計画）
「第五回丸森町総合計画」及び「丸森町復旧・復興計画」を基本とし、関連する「みやぎ森と緑の県民条例基本計画」等との整合性を図るとともに、各種林業個別計画を踏まえ、森林所有者、林業事業者、林業関係機関・団体とともに連携して策定しております。



令和5年3月
宮城県 丸森町

令和5年3月に策定のまるもり宝の山構想



おおつき まさよし
大槻 正儀 議員



QRコード
一般質問動画

どうする運動公園の再整備

町長 丸森らしさを全面に検討

町内の公園や運動場では、グラウンド・ゴルフなどの軽スポーツや中総体の練習が盛んに行われている。老若男女を問わず、皆が笑顔とともに運動する姿は、健康志向と相まった成熟した社会の一部と映る。しかし、町が丸森中学校裏手に設置した阿武隈川運動公園は、管理不十分とみる。管理と今後の河川敷の活用について問う。

問① 近隣市町が阿武隈川や白石川の河川敷を活用した運動公園と比較して、本町の運動公園は、適正に管理されているか。

答① 近隣市町が阿武隈川や白石川の河川敷を活用した運動公園と比較して、本町の運動公園は、適正に管理されているか。



敷地13000㎡ある運動公園 適正管理で有効利用を (阿武隈川運動公園)

畜産農家の未来を守れ

町長 町独自の支援をする

物価高、電気代、資材代の値上がりで町民生活に深刻な影響を与えている。特に、飼料の多くを輸入に頼る畜産農家にとっては、配合飼料の高騰は死活問題である。飼料価格は2倍近くに値上がりして高止まりしており、支払いに生活費を切り崩したり、牛を処分するなど、廃業を考えている農家もある。町長に、対策を問う。

問① 本町から畜産の灯を消さないためにも、畜産飼料価格高騰対策として、町独自の財政支援が必要と考えるがどうか。



梅雨の晴れ間が貴重、自家飼料の刈り入れに汗を流す (館矢間沖地区)

問② 畜産経営の危機は全国的なものであり、県内市町村とともに、政府に対して実効性のある対策を求めるべきと考えるがどうか。

答② 畜産業は国民の食を守り、農地保全の役割がある。畜産業が足腰の強い産業として構造転換が図られるよう、短期的な対策だけでなく、持続的かつ実効性のある対策を、町村会等とともに、国に要望していく。



やまもと あきのり
山本 明德 議員



QRコード
一般質問動画

問③ 高齢者の45%が加齢性難聴といわれており、本町では約2000人と推計される。難聴の進行で、他者との会話が減り社会参加の意欲が低下し、うつ病や認知症の発症にもつながるといわれている。

答③ 聴覚機能の低下による生活の質の低下は全国的な問題であり、国に補助制度の働きかけを検討する。



ふなやま しゅんいち 俊一 議員



QRコード
一般質問動画

さらなる観光振興に向けて

町長 観光DXを推進する

本町が「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを実現していくには、町と宮城創生DMOが中心になって、観光客と地域住民の双方に配慮しながら、観光デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、収集したデータの分析・活用を図り、さらには、丸森町観光振興計画に基づき、戦略的かつ総合的な観光地マネジメントを進めることが重要である。この観点から町長に問う。

問①観光DXを推進することにより、観光客の利便向上や周遊の促進、観光産業

問②観光振興計画における重点戦略の1点目の齋理屋敷の魅力アップ事業と、周辺整備事業は、どのような取り組みをするのか。

答②齋理屋敷前の道路整備のほか、住宅・店舗等の景観配慮型改修の推進や、屋敷内の中庭再整備などに取組む、齋理屋敷と周辺地域の活性化を目指す。

問③重点戦略の2点目、河川防災ステーションの平常



県と町が連携し遊歩道化の推進へ（齋理屋敷周辺商店街）

子どもの心のケア対策を

教育長 寄り添った支援を進める



かなもり ひろゆき 裕之 議員



QRコード
一般質問動画

小中学校での長期欠席児童生徒への支援と、学校や地域における防災教育について教育長に問う。

問①町内3校での不登校の児童生徒が増えつつあり、早急な対応が必要と考える。現状とその要因をどう分析し、対応しているのか。

答①中学校では令和3年度に12名、4年度には4名増加した。理由は様々である。町の支援として、子ども心のケアハウスや不登校等児童生徒学び支援教室を開設し、主体的な活動を促すきめ細かな支援や、進学を希望する生徒に寄り添っ



丸森町子どもの心のケアハウス（旧仙台銀行2階）

た支援を引き続き進めていく。

問②不登校の児童生徒に対する支援策として、豊かな自然環境の中で学べる場である空き校舎を活用し、地

域住民との交流を深めることで解決につながるかと考えるが実施してはどうか。

答②豊かな自然の中で自分を見つめ、将来への思いを確認する場の設置は子どもたちへの支援として効果が

また、心のケアハウスを中心に空き校舎の活用も研究していく。

問③自然災害から自分や家族、他人の命を守る行動が必要とされる。各地域や学校での防災・減災を改めて認識し、防災教育の徹底と備えが重要と思うがどうか。

時の利活用に向けては、地域住民と、この事業に関係する企業のトップ等の意見も反映させながら、整備を進めることが重要である。平常時の、利活用に関する検討の進捗状況は。

答③今後も利活用検討部会等での協議を継続し、様々なアイデアを整理しながら、町が整備する施設の基本構想を取りまとめる。

議会の要望に町長が回答しました

令和5年度予算審査を通した議会要望への回答

農業振興の推進

要望 高齢化が進む農業現場で、災害からの営農意欲喚起のためにも、次代を見据えたスマート農業や営農組織育成を推進し、農業振興を図ること。

回答 スマート農業の推進と、営農組織育成により、災害復旧工事完了後の農地の適切な管理及び効率的で持続可能な農業の実現に努める。

子育て世代の定住促進

要望 結婚・妊娠・出産・子育て支援策が、出生数の増加と移住・定住につながるよう取り組むこと。

回答 妊娠・出産祝金の支給や、第2子以降の児童保育無料化、学校給食費の無償化等の支援を行いながら、本町の子育て支援事業の認知度を高め、若者や子育て世代の定住促進に取り組む。



GPSを活用して耕うん作業する無人トラクター

企業誘致の実現

要望 金山工場団地の早期完成を図り、雇用の場の拡大による町民定住につながるよう、早急な企業誘致に町を挙げて取り組むこと。

回答 令和5年度内の早期完成を目指し、団地造成事業を推進するとともに、完成後速やかに企業立地ができるよう、トップセールス等の誘致活動に取り組む。

防ステを拠点に活性化

要望 河川防災ステーションは、防災拠点や、観光及び地域活性化を推進する拠点として、町の特色や魅力が高まる整備を進めること。

回答 災害時の機能に加え平常時には、災害記憶の伝承や防災学習のほか、町内観光施設への周遊機能を発揮し、さらに町の活性化を目指し整備していく。



企業進出に向け造成中の金山工場団地（金山西新田地区）

被災道路の早期復旧

要望 被災道路の工事を早急に進め、町民の生活基盤と利便を回復するよう全力で取り組むこと。

回答 東日本台風災害の復旧復興は、関係機関の協力を得て、鋭意努力している。特に道路は町民生活の利便を取り戻すため、早期復旧に全力で取り組んでいく。

意欲高まる学習塾の運営

要望 町営学習塾は、町独自の創意と工夫で、学習意欲が向上する運営を行うこと。

回答 英語と数学の授業内容に合わせた、完全予習型の塾を基本とし、学習習慣を身につけさせ、授業が分かる・面白い、やればできるの成功体験をさせ、挑戦する意欲を持った生徒を育てる。

持続できる病院の運営

要望 丸森病院を持続するため、経営の効率化、医師看護師の確保、他医療機関との連携強化に取り組むこと。

回答 検診等の予防医療、介護施設入所者の入院等により収入の安定を図る。大病院からの医師派遣と医療従事者の安定確保を行う。県南中核病院や、福島県内の病院とも連携を深める。

適正な町税債権管理

要望 税や使用料の確実な徴収を図り、丸森町債権管理条例に基づき、より適正な債権管理に努めること。

回答 債権管理台帳の徹底した管理と、事務処理を適切に実施していく。また、債務者の生活再建などを考慮し、納付の相談や、実態に応じた柔軟な対応を行っていく。

自主財源の確保対策

要望 ふるさと納税は貴重な自主財源である。返礼品の創意工夫や企業とのマッチングに力を入れ、納税額の増加を図ること。

回答 ふるさと納税の新規寄附者の確保に向け、返礼品の拡充や見直しを行い、本町への関心を高め継続的な寄附へと繋がるよう、情報発信を積極的に進めていく。



早期開通が望まれる林道鷺の平線（筆甫地区）



経営の効率化と温暖化対策のために予算14億円で環境配慮型改修事業（ZEB化）を実施する丸森病院



町の森林資源をフル活用

耕野地区

谷津正昭さん

丸森町森林組合の作業員として、町の森林整備や林業機械オペレーターとして活躍している、谷津さんにお話を伺いました。

Q 森林組合で働きたいと思ったきっかけを教えてください。

A 最初は工場勤務でした。両親の農作業や、山の仕事をしている姿を見て、一次産業の仕事に就きたいと思っていましたが、30歳の頃から今の仕事に就いています。

Q 危険な仕事だと思えますが、普段から心掛けていることはありますか。

A 同じ班で働くメンバーと念入りにミーティングをしたり、機械に乗ることが多いので周囲をよく確認して安全作業を徹底しています。

Q 地域での活動や、今後の目標についてお聞かせください。

A 現在、丸森町生涯学習協力員として地区の行事やイベントなどに参加をしています。地区の皆さんと一緒に触れ合うことが楽しいですね。

また、林業では環境に配慮した持続可能な森林整備をしていきたいと思っています。

Q 町や議会に要望やご意見はありますか。

A 私は、登山やトレイルコースを歩くことが好きで、時間があれば町内の山を歩き回っています。町内の登山コースや町産材を使用したアスレチックなどを整備することにより、町の観光資源が増えると思います。ぜひ、丸森の自然を活用した施策をよろしく願っています。

(金森 裕之 委員)

次の議会は

9月1日(金) 午前10時
開会予定

- 日程が変更になる場合があります。後日、町議会ホームページで、改めてお知らせします。



問い合わせ先 議会事務局 ☎0224-72-3038

スマホで議会が見られます

本会議の映像をネットで
ライブ中継しています

- 一般質問は過去の録画映像を常に視聴できます。ぜひ議会だよりと一緒にご覧ください。



丸森町議会中継

検索

表紙のひとば

コロナ禍で縮小されていた、町体育協会主催の健康まつりも完全復活。6月18日に行われた大会は、ソフトボールの部とニュースポーツのひとつであるフラバールバレーの部でした。

好天に恵まれ、町民グラウンドと町民体育館には、参加者のはつらつとしたプレーと歓声がこだましました。

9月には野球の部とボッチャの部、10月には、グラウンド・ゴルフの部とシャフルボードの部が行われます。特に、ニュースポーツは、大人から子どもまで楽しめる競技ですので、皆さんも参加してみませんか。小グループで行う場合は、スポーツ推進委員が出向きます。

(山本 明德 委員)

議会広報常任委員会

委員長	大槻 正儀
副委員長	鈴木美智子
委員	金森 裕之
	山本 明德
	船山 俊一
	一條 己